

## 平成24年 第10回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成24年9月25日(火曜日) 午後1時30分開会/午後3時50分閉会  
招集場所 加賀市役所別館3階 302会議室  
出席委員 石橋雅之、上田政憲、小林圭子、酒谷百合子、旭直樹  
会議列席者 掛山事務局長、宮本次長兼学校指導課長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、  
谷口スポーツ課長、田嶋文化課長、寺田図書館長、米屋課長補佐

- 石橋委員長 平成24年第10回教育委員会定例会開会宣言  
挨拶  
それでは議案第28号について事務局よりご説明をお願いします。
- 議案第28号 平成23年度教育に関する事務の管理及び執行状況  
の点検及び評価報告書について(別冊)  
梶谷課長 宮本次長 西出課長 谷口課長 田嶋課長  
資料に基づき説明
- 石橋委員長 各委員さんから何かご質問、または、これは違うのではないかというご意見  
がありましたらお願いします。
- 小林委員 6ページの雪のデザイン賞は韓国企業のスポンサーがつくとおっしゃいまし  
たけども、その辺が他の事業とは違っているなと思いましたので経緯を教え  
ていただけますか。
- 田嶋課長 これは韓国のアモーレパシフィックという化粧品会社なんですけど、日本にも  
支社がありまして販売しております。そこのラネージュという名前の商品が  
あるんですけども、それがフランス語で雪という意味であるということで、  
韓国のアモーレパシフィック社の方からこちらにぜひ支援させていただき  
たいとおっしゃっていただきました。そしてラネージュ賞の賞品として雪の  
デザイン賞の年には物品で寄附をいただいたり、大変支援していただいでい  
ます。
- 旭教育長 これは毎年法律できちっと報告しないといけないようになっていきますので、  
また来年もあると思います。そしたら最初に梶谷庶務課長がご指導内容を読  
み上げられましたけども、こういうものを来年に活かせるようにしないとい  
けない。忘れますので、1年間のまとめをしていくときにやっつけ仕事にな  
らないように、一つの事業が終わると各課はまとめて検証して記録してお  
く。7月から8月頃この作業に入る前にしっかりしないと、9月議会に間に  
合わせないといけないといったやっつけ仕事でやると、おそらくは荒っぽ  
い、報告はあるけれども中身がない単なる作業になり兼ねないので、田邊先  
生の指導内容を忘れないように庶務課の方からサインを出していただいでい  
たいと思います。

掛山局長 教育長さんのおっしゃるとおりで、フォーマットを事前に作っておいて、各事業終了後に反省を兼ねて必ず入力していただけるような体制を作っておきたいと思います。

上田委員 小中学校の耐震化が100%ということですが、県内の他町村、全国的な比較をご存知でしたらお願いします。

梶谷課長 100%達成しているのは市レベルですと加賀市だけです。小さい町ですとありますけども、加賀市が群を抜いています。この前新聞にも出ていましたけども、白山は合併の問題もあって率が悪いということで指導されておりますが、加賀市は一気に補助をもらいまして耐震化したということです。

酒谷委員 生涯学習課で、子ども会から脱退するところが出てくると言っておいでましたけども、そういう傾向は随分あるんですか。

西出課長 橋立でそういう話が少し出ております。実際に子ども会長さんをお願いしてお話しているんですけども、お子さんは地区の活動はしているんですけども、連合の少ないところは逆に出せないよという格好になっています。子どもまつりとか子どもレクリエーションなど活動自体参加していますが、そういう組織の中では難しい。

酒谷委員 子ども会の予算というのは、やはり加賀市の方から出ているのですか。

西出課長 連合子ども会の予算は、10万円の補助金は廃止しております。ただ、子どもレクリエーションと子どもまつりに関しては、それぞれ65万円の事業補助を出しております。

石橋委員長 他にございますか。なければ私の方からいくつか確認をさせていただきます。先ほど教育長の方からありました、9月19日に田邊教授との面談があり、指導を受けて、今回提出された評価報告書は修正した上で出されたものですか。

梶谷課長 一部文言等の修正は行いました。それと内容がおかしいものにつきましては修正を行いましたけども、指摘のあります同一内容のものであるというところは今回中々難しいということで、田邊先生からは次回きっちりお願いしますというご意見をいただいております。

石橋委員長 わかりました。次回はきっちりお願いします。それから各内容でいくつか確認させていただきます。まず文化課の文化体験プログラムの充実ということで、先ほど田嶋課長の方から23年度の参加人数が減ったという説明がありました。ただ、その前の推移を見ますと、逆に言うと22年度だけ突出したのかなというようにも思います。22年度突出した理由は把握しておられますか。

田嶋課長 一つにはロクロ体験をより多くできるようにしたということと、参加人数が多かったということが要因だと思います。ロクロ体験は、これまで手ロクロの数が3つしかなく、実際に使えるのが2つでした。それに手ロクロは非常に難しいということで電動ロクロを横に併設することになりました。それで使用しやすくなり参加人数を多く受け入れることができたということです。

石橋委員長 ー それは課長、22年度増えた理由でも23年度減った理由になりません。

田嶋課長 ー 一番は、22年度のこども写生大会の参加人数が2学年ありまして、23年度は1校で1学年1クラスの参加でしたので減少ということです。

石橋委員長 ー そしたらどうして今年は2学年参加できなかったのか。

掛山局長 ー よろしいですか。課長が言いたいのは、依頼する学校のクラス数によって変動するということを行っているんですけども、これは各学校単位に依頼をしているんです。ですからその辺を見直す必要があるのではないかと思います。もう来年度に入りますので、来年度の取り組みの中に活かしていきたいと思います。

石橋委員長 ー わかりました。次、下の事業名『松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業』ですが、評価のところに『今後応募者の増加を図る新たな手法を検討する』と書いてございます。もちろん検討は必要なんですけど、このコメントがあえて入っているということは普通に考えますと23年度は応募数が減っているのかと思ったのですが、増えているんですね。増えているにも関わらずこういう文言を書いている理由は何か教えていただきたいのですが。

田嶋課長 ー 市内小中学校の児童生徒の応募数は増えております。ところが全国からの応募者数が減少傾向にありまして、それともう一つは当日の吟行会の参加者が減少しています。吟行会の参加者は当日の会場、表彰式の場にいらっしゃる人数と大体同じなんですけど、その人数が年々減少しているという傾向にありますので、これをなんとかPRして繋いでいきたいと思います。

石橋委員長 ー ちょっとよそで見たんですけど、同時期に小松市でもやっていませんか。

田嶋課長 ー 近い時期にやっておいでます。

石橋委員長 ー 全く同じ時期ではないのですか。

西出課長 ー 前後ずれていますけども、松任とかあるいは能登とかも一週間単位でずれてしています。

石橋委員長 ー 分散したのではないかと思います。

田嶋課長 ー 要は奥の細道の、松尾芭蕉の通っていった月日に合わせてあちこちでやっております。それに近い土日でやっているということもありますので、どうしてもそういう傾向にあります。山中は歴史が一番古いのですが、他市も段々と自分のところであるようになって、そちらの方に流れていったということも確かにあります。

石橋委員長 ー わかりました。それでは引き続き応募者の増加を図る新たな手法を検討して下さい。よろしくお願いします。

小林委員 ー いいですか。今の俳句の件でお聞きしますけれど、俳句というのは現代俳句とか元々の古典的な俳句とか、おそらく大きく分けて二つあると思いますけども、審査員の方というのは。

掛山局長 ー すみません、これは後ほど報告があるので、できたらそこで審査はどなたがされているのかとか詳しく説明があると思います。

西出課長 審査の方は現代俳句の方もおいでますし、色々な分野の方においでいただいていますので偏ってはいません。

石橋委員長 ニューススポーツ大会の開催ですが、21年から23年にかけて人数が減っております。結果として事業費も減っています。これは単純に感じたんですけども、必要とされているんですか。

谷口課長 現時点では、このままではだめだというのが実感です。おっしゃるとおり工夫しないといけないので担当の方に検討をお願いしたいと思います。

石橋委員長 私はあまり詳しく知らないのですが、ニューススポーツというのは何ですか。

谷口課長 運動着とシューズだけで、気軽にできるものという捉え方でいいと思います。

石橋委員長 毎年種目は変わっていますか。

谷口課長 ここ1~2年は変わっていません。ペタンクみたいな体育館でできるものとか、ちょっとしたフライングディスクを投げて受け取ったり、簡単なお年寄りでも子どもでもできるようなものです。

石橋委員長 対象は基本的に先ほどおっしゃった高齢者の方々や障害のある方ですか。

谷口課長 はい。

石橋委員長 ご覧のように正直10代、20代の若者は来たりしないでしょう。

谷口課長 それでですね、言い方がちょっとおかしいかもしれませんが、例えばこれで婚活みたいなものもあると思うんですが。

掛山局長 ちょっといいですか。このニューススポーツ大会というのは、冬場に運動不足を解消するためにスポーツ課がスポーツ振興と健康づくりの一環として考えたんですけども、冬場のスポーツ推進員、ボランティアの指導員の方々がメインのイベントなんです。スポーツ推進員の方々が一生懸命自分達で考えた大会であって、予算は市でもっていますけど、スポーツ課は逆にその事業に協力しているんです。スポーツ推進員の方々が自主的にその事業を考えてやられているんです。今委員長さんがおっしゃったように、参加者が減ってきましたが、私は毎年ちょこっと顔を出していますけども年齢層が幅広く、お子さんからお年寄りまで若い方もおられます。一つ問題は、効果が薄いということでこれを来年度の予算要求から切るという手もあるんですけども、そのときにこの事業をお世話していただいているスポーツ推進員の方々自らが企画し、自らが運営していただいている部分について、行政として少しお手伝いしているのが予算なんですけども、それを切ってしまうのはいかなものか多少心配なんです。この辺は少しスポーツ課の方でスポーツ推進員の方と話し合いをしていただきます。人数100人くらいで効果があるのかというだけの部分なので、スポーツ推進員の方々のモチベーションの問題もあるもので少し審議させていただきたいと思います。

石橋委員長 個人的な思いとしては、元々のかたちの事業ならば、ある程度の意味があるとは思いますが。ただ、やっておられる方々自身が結局前年の繰り返し、前年の繰り返しという中でやっておられるのであれば、意味のない話で、今局長

がおっしゃったように確認をした上で、予算をつけられるのであればつけてあげればいいですけども、本当にこれは要るのかどうかという見直しは必要な事業ではないかと思いました。私からは以上です。

旭教育長

非常に貴重な委員さんのご意見をいただきありがとうございます。やはり事務局も一生懸命やっているんですけども、こういう委員会で鋭いご指摘とか、これが本当に必要なのかとか、去年やっているからしなければいけないとかたちで形骸化しているのではないか、加賀市はそういうところがあると思うんです。よって、我々教育委員5人がしっかりと点検表を見たり、今日だけじゃなくて去年は去年でありますから、そういうのを見ながらこれは一体どんな事業なのかとか、ときどきこう指摘していただくことが大事であると思いますし、予算が11月頃から始まりますので、これはスクラップアンドビルドしないといけないとか、我々自身が見ていかないと見る者がいないんです。ということは事務局はどうしていくかといいましたら、去年やったし今年も同じ、予算も同じ、ただ事業だけは続いていく、これは絶対悪いことなんです。だから点検評価報告というのは非常に大事だと思います。この報告する方もやっつけ仕事でただやっている。やはりしっかりと見ていかないと、こちらも鋭く言う体制にならない限りはよくなると思います。今回はこれでいいんですけども、ニュースポーツの件について指導員を活かすということで始まったんですけども、もう5~6年も経ったら形骸化してきますし、担当もおそらくは新しくなってきたり、その意識が継がれてきていない。そしたらどうするべきなのかということを書いていかないといけない。これはスポーツ課だけではなく。文化課も生涯学習課もはっきりいって職員が目覚まさないで加賀市は元気にならないと思います。我々自身もしっかり見ていく。反省と次回にこめてです。

石橋委員長

それでは、議案第28号につきまして採決を採りたいと思います。賛成の方は挙手を願います。

全委員

全員挙手

石橋委員長

全員賛成をもちまして承認されました。またきちっと点検と報告も含めて来年度に活かして下さい。よろしく願います。続きまして、議案第29号、30号について田嶋課長、説明をお願いします。

■ 議案第29号 加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について（諮問）

■ 議案第30号 加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について（諮問）

田嶋課長 資料に基づき説明

石橋委員長

何かご意見ございませんか。私の方から一つ。2件とも所有者が変わったからというお話がありましたが、今後もこういう傾向が出てくるのでしょ

か。

田嶋課長 まだ東谷に関しましても、同意いただいていない建物が少し残っておりますのでそういうこともありえます。

石橋委員長 他にございませんか。ないようであれば、ただ今の説明を理解したということでございますので議案第 29 号、並びに 30 号につきまして一括して採決を採りたいと思います。賛成の方は挙手を願います。

全委員 全員挙手

石橋委員長 全員賛成をもちまして本案件は承認されました。よろしく願いいたします。これをもちまして審議事項は終了いたしました。続きまして、報告第 17 号について田嶋課長、ご説明をお願いします。

- 報告第 17 号 加賀市伝統的建造物群保存地区保存審議会の委員委嘱（一部変更）について  
田嶋課長 資料に基づき説明

石橋委員長 特に質問がなければ、報告第 18 号について宮本次長、説明をお願いします。

- 報告第 18 号 平成 24 年度加賀市小中学生の学習状況・生活習慣について（別冊）  
宮本次長 資料に基づき説明

石橋委員長 これについて何かございますか。

旭教育長 補足ですが、去年まではこういう生活実態調査の分析・考察までは教育委員会で出してなかったんです。今年初めてなんですけども、宮本次長が言われたように、学力の点数だけで言ってもいけないので、目的は加賀市の子ども達をたくましく自立させていくにはどうしたらいいかということになるので、両方を見ていかないといけない。そうするとやっぱり、今発表がありましたけども、学力と生活習慣や食や読書というのは間接的に影響してくるので、我々は総合的に学力というものを見ていく。来年の全国学力テストは悉皆ですよ。今年は抽出でしたけども、悉皆ということは全員がする。点数が良いか悪いかは別として、こういう分析をしながら見ていくと、どこを強化しないといけないかが見えてくる。宮本次長の説明のように中学校を何とかしないといけない。そこでその中学をどうしたらいいのかということで、私は保護者会、PTA 等にもっともっと親ばかになれということを書いていきたいんです。金沢地区、小松地区でも高校生、中学生を見てきましたけども、加賀市はあまりにもシャイすぎる。中学校の場合、学校と保護者があまりにも離れすぎているのが加賀市だと思うんです。能美市でも小松市でも津幡、内灘でも積極的です。要するに部活動その他でも、親は追っかけを遠慮せずにやっています。加賀市は寂しいです。子どもが来るなというからあ

まり行かないと言うのですけども、そうじゃなくてももっともっと私は遠慮せず学校に入っていくことが当たり前な雰囲気を加賀市が作らない限りは中学校の教育力は上がらないような気がします。そして見られていないと意識しませんから、先生と生徒だけの閉鎖空間と一緒にですよ。そうじゃなくて地域の人や保護者もみんな見ている中で良かったらみんなで拍手をするし、悪かったらみんなで怒るということを教えないといけないのではないかと思います。それから国語の授業についても、これはどういうところに問題があるかという、言語活動ですから小さい頃から先生方や親も含めて地域の人に訴えていかないといけない。言語活動というのは学校だけじゃなくて普段の生活からもあるということを言えば伸びていくのではないかと。すぐに伸びないかもしれないけど、中学校の在り方とか、国語、言語活動の在り方とかは当面の加賀市の問題です。ここからはっきりしたのは塾が多いということ。塾が多いということは学校を信頼していないということなんです。そしてどの地区に塾が多いかも調べてあるんです。申し訳ないですけど山代地区に多いんです。やっぱり家庭教育力の低下が裏返しになっている。学校の先生も塾で教えてもらえれば楽なんです。これじゃいけない。塾と反対に学校が手を握り合って、地域の子をどうするかという方向にもっていきようにしないといけない。塾は塾で勝手に煽るだけ煽って、地元の学校はいけないということになってくるとこれまた困る。だから教育委員会としては地域の子をどう育てるかという発想で、来年に向けてこのデータをしっかり追跡していかないといけないのではないかと思います。

石橋委員長

はい、他に何かございますか。これは毎年とっているんですか。

宮本次長

この生活習慣についてまとめたのは今回が初めてです。

石橋委員長

でも毎年アンケートはとっているんですか。

宮本次長

そうですね。県と市で比較してみたのは初めてです。

石橋委員長

4年生、6年生、中3ですから、この子達をずっと追っていけば、4年生の子達が2年後は6年生としてまた結果が出てくる。そういう意味では比較しやすいのかなと思います。

旭教育長

加賀市の中学校はどうしてそうなのか私もわからないのですけども、やっぱり教員の教師力、ここにあるのかもしれない。中学校の先生のプライドを傷つけて申し訳ないけれども、もっと小学校と連動して、どうこの子達を引き続いて育てるか関係プレーができてなかったのではないかと。中学校は中学校だと昔のままでやっていますと、現代の子はついてこれないのではないかと。学校教育というのは最後は教師力だと私は思っています。教師が現実を冷静に直視して、直すべきは直していけば改善に繋がる、積極的にもなる、子どもは変わってくると思います。

石橋委員長

それでは、報告第19号について梶谷課長、ご説明をお願いします。

■ 報告第 19 号 平成 24 年第 5 回加賀市議会定例会（9 月）について（別冊）

梶谷課長 資料に基づき説明

石橋委員長 続きまして、報告第 20 号にまいります。

■ 報告第 20 号 橋立小・中学校新校舎への移転について

梶谷課長 資料に基づき説明

旭教育長 11 月 1 日というのは決定なんですか。竣工式でないことはわかるんだけど、教育委員は出なくてもいいのか。そこまではしないのですか。市長さんにお話を簡単にしてもらいたいですし、PTA、区長会長にも出してもらって、これはいいんだけど、事務局として後ろにいればいいのか、この辺のスタンスを明確にしないといけない。お祝いではないけども節目でしょ。そういうときに教育委員会抜きに、あくまでも教育委員は裏方で徹しますという役割なのか、一応並ぶのか、この辺をやっぱり建設部とでも相談しておいてほしい。それともこういうかたちが過去にあったのか。

掛山局長 過去、教育長は出ていますけども教育委員さんは出ていませんでした。ただ、当時と今では教育委員さんの認識が随分変わってきましたので、この辺は再度きちっと整理しなおします。

石橋委員長 石川教育の日ですね。

旭教育長 11 月 1 日は石川教育の日で式典があるんです。教育長も教育委員長も金沢です。

掛山局長 それは午後ではないですか。

梶谷課長 入校式は 30 分ほどの予定をしております。

掛山局長 これは子ども達に節目を与えるという簡単な式典で、地元中心ということです。だけど都合のつく委員さんに、もちろん出ていただかないといけないと思います。

石橋委員長 それでは、詳細が決まり次第連絡をお願いいたします。報告第 21 号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 報告第 21 号 市民夏期大学講座の開催結果について

西出課長 資料に基づき説明

石橋委員長 ただ今の説明について何かご質問はございますか。以前アンケートの中で会場を分けてほしいという意見があって、それをベースに分けたんですか。

西出課長 それは少数の意見なんですけど、委員さんからも一回分けてみてはどうかという意見があったもので、ただこちらが考えている以上にあまり期待できませんでした。いらしている方は山代の方でも大聖寺にいらしているという結果



が出ていますし、逆に大聖寺の方で車のない方が来ていただけなかった部分があったのかなというアンケート結果も出ております。2 つに分けるとわかりにくいというご意見もありました。

酒谷委員 聞いてもよろしいですか。楽しかった、良かったというのが主な感想なんですけども、反対の感想はありませんでしたか。

西出課長 反対の感想は、会場の冷房が涼しかったとか、文化会館は横広の会場なので見難かったといったもので、内容に関したものではありませんでした。

石橋委員長 よろしいですか。それでは、報告第 22 号について事務局よりご説明お願いします。

■ 報告第 22 号 芭蕉祭山中温泉全国俳句大会の開催結果について  
田嶋課長 資料に基づき説明

石橋委員長 これについて何かございませんか。

旭教育長 芭蕉祭に市長代理で参加させていただいたんですけども、この間、我々教育委員の視察で伊賀へ行きましたけど、教育長さんと話していたら山中温泉では芭蕉祭があることを知っておいでました。全国でも芭蕉を偲ぶ会があると思うんですけども、山中は奥の細道の中でも 8 泊 9 日しました。旧暦の 7 月 27 日、今の暦に直すと 9 月 10 日から 18 日まで、この期間に俳句大会をする意味があります。お隣の小松や松任でもあるんですけども、こういうところをうまくアピールしてもっと人集めに使う。当日 84 名集まったんですけども、反対に小学生は増えているわけですから。山中文化会館は大き過ぎるので、こぢんまりと華やかにするためには山中座で開催するとか、いろんなところを回って俳句を書いて作ってからまた集まる、そういうふうになればいいのではないかなという感想です。

酒谷委員 小学生が吟行に出るのは何年位前からですか。私は何年か前に出たことがあるんですけども、そのとき子どもが一人もいなかったんです。

田嶋課長 小中学生につきましては、学校で取りまとめて出していただくので、当日は受賞者だけが賞状を受け取りにいらっしゃるということです。

酒谷委員 わかりました。

石橋委員長 よろしいですか。報告案件 6 件全て終了いたしました。その他(1)に入ります。梶谷課長よろしくをお願いします。

■ その他(1) 加賀市教育振興基本計画について  
梶谷課長 資料に基づき説明

石橋委員長 特になければ、続きましてその他(2) についてご説明をお願いします。

■ その他(2) 石川縣市町教育委員会連合会研究大会について  
梶谷課長 資料に基づき説明

石橋委員長 この場で決めるのですか。  
梶谷課長 はい。報告がございますので、そちらもあわせて 28 日の金曜日にします。  
石橋委員長 それでは順番にご希望をお聞きします。酒谷委員。  
酒谷委員 教育委員の役割・在り方をお願いします。  
小林委員 いじめ問題で。  
上田委員 家庭と地域の教育力で。  
旭教育長 どこでもいいのですが。  
石橋委員長 配分する必要はないとおっしゃいましたので、極端な話、5 人全員が同じところに行ってもかまいません。  
旭教育長 それなら今問題のいじめ問題に入ります。  
石橋委員長 私は教育委員の役割・在り方を確認したいと思いますので、こちらに入ります。  
掛山局長 私は教育行財政に入ります。  
梶谷課長 私も教育行財政に入ります。また日程等できましたらお送りいたします。  
石橋委員長 それでは、続きましてその他(3)についてご説明をお願いします。

■ その他(3) 加南地区教育委員会連絡協議会研究大会の開催について  
梶谷課長 資料に基づき説明

石橋委員長 詳しいことは随時ご連絡下さい。続きまして、その他(4)についてお願いします。

■ その他(4) 学校研究大会等のご案内について  
宮本次長 資料に基づき説明

石橋委員長 それではよろしくお願いいいたします。続きまして、その他(5)について西出課長をお願いします。

■ その他(5) 加賀市民映画祭 [2012in かが] について  
■ その他(6) オーケストラ・アンサンブル金沢加賀定期公演 2012 について  
西出課長 資料に基づき説明

石橋委員長 続きまして、その他(7)について田嶋課長をお願いします。

- その他(7) 敷地物狂公開講座について  
田嶋課長 資料に基づき説明

石橋委員長 みなさん、ご都合がつきましたらご参加下さい。その他ございますか。

- その他(8) その他  
掛山局長 点検評価について補足、決算特別委員会について報告

石橋委員長 他にないですか。なければ、次回日程 10 月 30 日 10 時からでよろしいですか。  
全委員 異議なし。

石橋委員長 予想される議案は。

掛山局長 長く適正規模・適正配置をやっておりませんので、一度勉強会をしないとイケませんね。

旭教育長 別でやらないとだめですね。

掛山局長 ただ、資料はある程度固まっていますので、これはまた別にご連絡いたします。議案として考えられるのは平成 25 年度の予算要求の財政の考え方が示されますので、その辺を少しご説明すると思います。

石橋委員長 それでは、次回 10 月 30 日 10 時からということで決定いたします。よろしくお願ひします。議案、報告全て終了いたしました。これを持ちまして第 10 回教育委員会定例会を終了させていただきます。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。